11-90-037



70 ルーメンTrionic LEDリアライトをお選びいただきありがとうございます。

このマニュアルでは、Walker にリア ライトとライトを取り付ける方法 (下の左側の列) と、Trionic Veloped に取り付ける方法 (下の右側の列) の両方を示します。

左の写真のAは、ウォーカーにライトを取り付けるための10度角度のストラップです。Bは、ベロペッドにライトを取り付けるための0度角度のストラップです。

LEDライトの取り付け

歩行器の説明書



A1. 付属のラバーストラップ2本のうち、ライト取り付け部分が10度角度になっているものをお選びください。



A2. ライトをストラップのスロットにカチッと音がするまで押し込みます。



A3. ライトをウォーカーに取り付けます。高さ調整クイックリリースレバーのすぐ下にあるセミバーチカルフレームチューブ、または黒いセミバーチカルグリップチューブのいずれかに取り付けます。ストラップをしっかりと引っ張り、プラスチックフックで固定します。



A4. ストラップをしっかりと引っ張り、プラスチックフックで固定します。

Trionic Velopedの説明書



B1. 付属のラバーストラップ2本のうち、ライト取り付け部分が0度の角度になっているものをお選びください。



B2. ライトをストラップの溝にカチッと音がするまで押し込みます。



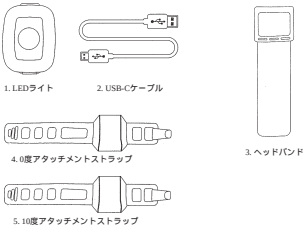
B3. ライトをTrionic Velopedに取り付けます。できれば、高さ調整クイックリリースレバーの下にある、後部の2つの垂直フレームチューブに取り付けます。ストラップをしっかりと引っ張り、プラスチックフックで固定します。



B4. ストラップをしっかりと引っ張り、プラスチックフックで固定します。

使用方法

パッケージには以下が含まれています



注意

充電中、バッテリー内の化学反応により、バッテリーが高温 (最大40℃) になることがあります。これは正常な動作です。また、充電前にバッテリーが完全に放電されていない場合、バッテリーが熱くなることもあります。

バッテリーの寿命には、セルの種類、使用状況、メンテナンス方法、温度、充電サイクル数など、いくつかの要因が影響します。一般的に、バッテリー容量が大きいほど、動作時間が長くなります。

バッテリー容量は、300 ~ 500回の充放電サイクルを繰り返すと、初期容量の約80%まで低下する可能性があります。適切なお手入れを行えば、バッテリーの寿命は最大3年です。

防水性能は雨水のみに対応しています。清掃の際は、バッテリーまたはライト全体を水に浸さないでください。必要に応じて、柔らかい湿らせた布でライトを拭いてください。

バッテリー性能

バッテリーの性能は温度変化によって大きく影響を受けます。

·**低温：**0℃では容量が5 ~ 10%減少し、動作時間が50%短くなります。-20℃では容量が30%減少し、動作時間が70%短くなる可能性があります。温度が20℃まで上昇すると、性能は通常に戻ります。

·**自己放電率：**室温では、バッテリーは1日に約1%の容量を失います。40℃で保管すると自己放電率が増加し、1日に約5%の容量を失うことになります。

バッテリーの最適な性能を維持するには、極端な温度にさらさず、涼しく乾燥した場所に保管してください。

バッテリーを長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに必ず充電してください。

バッテリーの充電方法



1. ライトの下部に充電場所があります。
2. ゴム製のカバーを持ち上げて充電ポートにアクセスします。
3. USBケーブルをUSB充電器に差し込みます。
4. 充電ケーブルをライトの充電ポートに差し込みます。
5. 充電中はインジケーターが赤く点灯します。

完全に充電されると、充電インジケーターが緑色に変わります。

注意: 付属のUSBケーブルを使用してバッテリーを充電してください。バッテリーが完全に充電されたら、充電ケーブルを抜いてください。

ライトの操作方法

スイッチを2秒間押し続けるとライトのオン/オフが切り替わります。1回クリックするとモードが切り替わります。

セーフモード

バッテリー残量が少なくなると、ライトは自動的に 5 ルーメンの常時点灯モードに切り替わり、さらに 30 分間動作します。